

# 2012年度 成田地区 D級指導員講習会(1/3)

指導者の皆さんは選手の未来に触れている

- 主催:千葉県サッカー協会技術部
- 後援:成田市サッカー協会、技術部、事務局
- 開催場所:下総運動公園、赤坂公民館
- 開催期日:2012年11月11日、17日
- 講師:11/11 藤田講師(県協会技術部)、旭講師(県協会)、斎賀講師(県協会)  
11/17 藤田講師(県協会)、藤原講師(県協会)、斎賀講師(県協会)
- 市協会:濱田(事務局長)、江角・新井(副事務局長)、田嶋・岩瀬(事務局総務)  
飯嶋・前梶(事務局広報)、和田・山田(女子委)

## <開催経緯と事業目的>

身近で指導員講習会開催を検討していた市協会と、開催会場を求めていた県協会のコラボで2008年に始めたD級指導員講習会も今年で5回目。今年は当初の期日が例年日程と違ったこともあり、数回におよぶ日程調整の末に会場変更し、2日目会場を公民館午後からになるなど開催まで課題もありましたが、濱田事務局長を始めスタッフ、参加者と講師の協力により無事に講習終了できたことを感謝いたします。講習枠31名でしたが、成田地区からの参加も計12名と多く、この地区開催の意義も高まったとおもえる講習会となりました。また回を重ねるたびに県協会との関係も深まっていることもこの事業の特徴。

## <講師コメント>

講習会では、日本のサッカーにおいて今一番望まれているのはキッズ世代の育成であり、それには指導者の正しい指導方法が重要と、熱い口調で藤田講師は語られておられました。

### \* 日本協会が考える、キッズプログラムの理念 \*

1. 外遊びの減少⇒子供達の体力低下
  2. 強制のない自由なスポーツ⇒アイデア
  3. 駆け引きに減少小子化⇒社会的刺激の減少
  4. コミュニティ、学校、家庭でのしつけ⇒モラルの低下、少年犯罪の増加
- ※スポーツの重要性⇒体力アップ、社会性を高める、フェアプレー



## <講習内容、参加者他について>

今年の参加者は富里市4名、成田市8名の他、市川市4名、山武郡3名、匝瑳市2名、千葉市3名、船橋市2名、八街市2名、銚子市1名、八千代市1名、その他1名の31名で開催しました。千葉県で年間10回程度の開催数のうち1回を成田地区で開催することは、銚子や市川、船橋などの遠方からの参加を考えると、成田地区の指導員を目指す人たちにとって意味あることであり、地域サッカー振興に寄与できる事業であるとあらためて認識しました。講習会もオープンマインドをテーマに、その日に会ったばかりの参加者が打ち解け、終始笑いありサッカー講義にも質問があいつぐなど、熱く接近した講習会でありました。昼食時には、市協会恒例の『豚汁のふるまい』も実施しました。市協会では今後もこうした事業を通じ地域に密着した協会でありつづきけるよう、努力していきたいと思っております。

## D級指導員講習会開催報告(2/3)

大切なことは今日の結果ではなく子供達が明日、どういうプレーをするかを楽しみにする気持ちを持つこと

1日目	9:00	開校式	ガイダンス		講義室
11/11	9:30	講義Ⅰ	発育発達と一貫指導	(藤田)	講義室
下総公園	10:30	講義Ⅲ	コーチング	(旭)	講義室
	11:30	実技Ⅰ	アイスブレイク	(藤田)	グラウンド
	12:30	昼食			
	13:30	実技Ⅱ	トレーニングの紹介	(旭)	グラウンド
	14:30	実技Ⅲ	(複合練習)パストコントロール系/ドリブル系	(藤田)	グラウンド
	15:30	実技Ⅳ	シュート	(旭)	グラウンド
2日目	14:00	講義Ⅳ	メディカルの知識	(斎賀)	講義室
11/17	15:00	講義Ⅱ	審判・ルール	(藤田)	講義室
赤坂公民館	16:00	講義Ⅴ	大人の関わり	(藤原)	講義室
	17:30	講義Ⅳ	実技振り返り	(藤田)	講義室
	18:00		筆記テスト		講義室
	19:00		ガイダンス		講義室
	19:30		閉校式		

### 指導員の体系図

公認S級コーチ	プロリーグで指導できる指導者の育成
公認A級コーチ(ジェネラル)	指導者のスペシャリストの育成(年代別)
公認A級コーチ(U12)	
公認B級コーチ	サッカーの全体像を理解し、基本的な知識・指導力を持った指導員の育成
公認C級コーチ	12歳以下の選手に関わるグラスルーツで活動する指導員の育成。D級はグラスルーツで活動する指導者の育成を目的に、公認C級コーチ養成講習会の内容を2日間(合計9.5時間)に凝縮したカリキュラム構成になっています
公認D級コーチ	
公認キッズリーダー	10歳以下の選手に関わる指導者や父母で、体を動かす楽しさを伝える指導者の育成。グラスルーツで活動する指導者の育成を目的に、公認C級コーチ養成講習会

コーチとは『馬車』という意味、目的地に運ぶ(人を導く)。さあ目の前の子供たちをうまくしましょう。



\* 実技開始、やや天気が下り坂が気になる。



\* 講義資料も成田開催分と記載の配慮あり



\* チームプレーを養い中



\* まずはオープンマインド・この笑顔がすべて

# D級指導員講習会開催報告(3/3)

平凡な教師は言って聴かせる、良い教師は説明する。



試合に勝つ負けるだけではなく子供たちがどうサッカーと関わっていけるかを重要視する



今日の結果だけでなく子供たちが明日どんなプレーをするかを楽しみに指導する



いいプレーは気づいてあげる、うまくできたトライしてみたい気持ちをもたせることが重要

講習を受講して



\* 曾田 悦久(日吉台SC)

自分の子どもは、地元サッカークラブに入って毎週練習に励んでいます。その姿を数年見守ってきましたが、昨年よりお父さんコーチとしてクラブの練習にお手伝いに行くようになりました。そして、いつの間にかクラブの子ども達みんなが上達し、楽しくなるサッカーを指導したいと思うようになりました。自分なりに工夫し、指導してきたつもりでしたが、それが本当に有効なのか疑問を感じていたとき、このD級コーチ養成講習会があることを知りました。良いきっかけだと思い受講する事にしました。講義では、コーチングの仕方、メディカル面の知識や配慮、ルール理解の大切さ、フェアプレーの精神など、練習のプランニング以外にも、実に多くの知識や配慮すべきことがあることに気づかされました。実技では、子ども達のレベルに合わせてプランをアレンジしていくことの大切さを知りました。子どものプレーを分析できるだけの力量は持ち合わせていませんが、コーチングの重要な視点だと思います。また、子ども達にお手本を見せられるように、自分を磨いていく意欲も出た実技講習となりました。

2日間の講習で、これからも勉強し続けなければならないと感じるほどコーチングは奥が深いものだとわかりました。そして、今後も勉強していきたいと思えた講習会でした。できれば、多くのサッカー指導者とコーチングについての考え方を共有したいと思います。講師として指導してくださった方々、成田市サッカー協会の方々には大変お世話になりました。「指導者は選手の未来に触れている」という言葉を座右の銘とし、今後も子ども達のためにがんばっていききたいと思います。